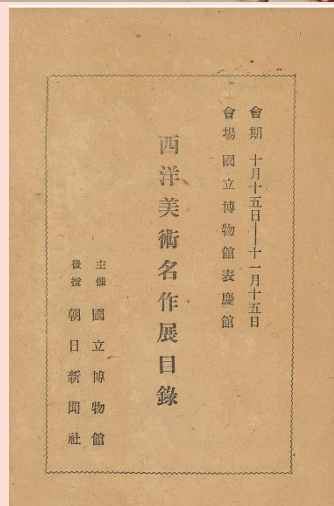
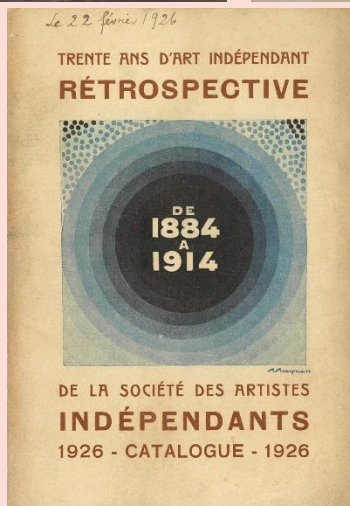




令和8年度鈴木信太郎記念館展示
「文学と美術の共鳴ーフランス文学者・
鈴木信太郎と芸術をめぐる物語」
記念講演会（全2回）

9月26日(土)、10月10日(土)

14:00~15:30 (13:30開場)

参加
無料

会場

南大塚地域文化創造館
第1会議室

定員

各回40名
(応募者多数の場合は抽選)

【応募方法】※募集開始日:8月15日(土)

HP

スマートフォンのカメラで
右のQRコードを読み込み、
ホームページ上の応募
フォームからご応募下さい。
9/8(火)締切です。



往復葉書

往復葉書にお名前(フリガナ)、ご住所、
年齢、電話番号、希望回(①第1回、②第
2回、③両方、のいずれか)を記し、「〒
170-0013 東京都豊島区東池袋 5-
52-3 鈴木信太郎記念館」宛に9/8
(火)必着でご郵送下さい。

写真(左上から):自身の肖像画と共に写真に写る鈴木信太郎(1954年)、上野公園美術館(1926年以降)(出典:台東区立図書館デジタルアーカイブ)、クロード・モネ《睡蓮》(1916年、国立西洋美術館蔵)(出典:国立美術館所蔵作品総合目録検索システム)、「回顧展:独立美術の30年-1884年から1914年まで」目録(独立芸術家協会(フランス)発行、1926年)、東京国立博物館「西洋美術名作展」目録(国立美術館発行、1947年)、鈴木信太郎の中学校同級生の写真(1956年)

お問い合わせ | 豊島区立鈴木信太郎記念館 電話:03-5950-1737

講師紹介



こいずみ まさや
第1回 小泉 順也氏 一橋大学大学院言語社会研究科 教授

【略歴】

- ・1998年、東京大学教養学部教養学科を卒業。
- ・2012年、東京大学総合文化研究科超域文化科学専攻博士後期課程を修了。
- ・東京大学、国学院大学、日本女子大学、学習院大学等での講師職を歴任し、2012年に一橋大学言語社会研究科准教授に就任。2020年から現職。
- ・ポール・ゴーガンやナビ派を中心とするフランス近代美術史、博物館・美術館のコレクションの歴史等を研究。



かわむら えみこ
第2回 川村 笑子氏 武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 准教授

【略歴】

- ・2007年、武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科を卒業。
- ・2017年、東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻修士課程を修了。
- ・東京藝術大学教育研究助手、医療創生大学非常勤講師等を経て、2025年より現職。
- ・日本近現代美術史、特に戦後日本における画壇再編について研究。

講演内容

第1回：9月26日（土）

「鈴木信太郎が生きた時代の美術館事情～展覧会とコレクションの歴史～」

フランス文学者・鈴木信太郎（1895-1970）が生きた時代は、日本だけでなくフランスにおいても美術館制度が整備されていく時期と重なります。100年前の上野公園が現在と異なるように、パリの美術館事情も今と同じではありません。今回の講演会では、記念館の所蔵資料を掘り起こしながら、日本のフランス文学者が訪れた美術館の痕跡をたどります。そして、具体的な展覧会やコレクションの検証を通して、文学と美術の接点を探ります。

第2回：10月10日（土）

「鈴木信太郎と美術界～ジャンルを超えた人的ネットワークの広がり～」

フランス文学者の鈴木信太郎をめぐる人物相関図を紐解くと、その幅広さに驚かされます。その関係は、長く教鞭をとった東京大学仏文科関係者にとどまらず、幼馴染の洋画家高島達四郎（1895-1976）を中心とした美術関係者にまで広がっています。本講演では、信太郎を取り巻く人的ネットワークの広がりを多角的に検証することで、文化人たちのあいだで展開されたジャンル横断的な交流を日本近現代美術史上の動向と関連づけ、当時の文化サロンの様相を概観します。

会場案内

南大塚地域文化創造館 第1会議室

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-36-1

電話：03-3946-4301

●「東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅」

1番出口より徒歩8分

●「JR山手線 大塚駅」(南口)より徒歩5分

●「都電荒川線 大塚駅前」より徒歩5分

●都バス「大塚駅」停留所より徒歩5分(都02、上60)



鈴木信太郎
記念館HP



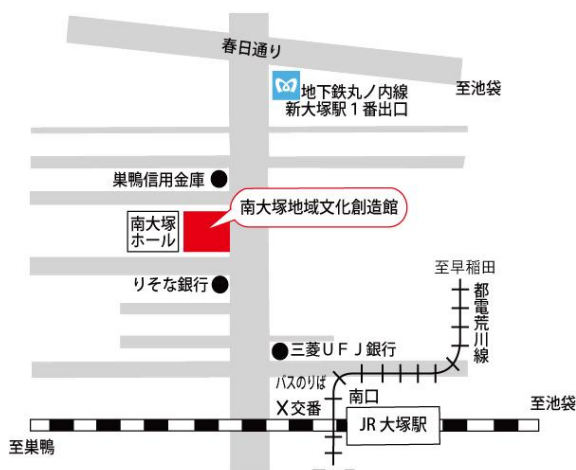
郷土資料館
公式X



地域文化創造館
HP



南大塚地域文化創造館



〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-36-1